

#総合診療



今月の連載関連本



痛みの内科診断学

鍋島茂樹＝著

本体 3,200 円＋税／B5 判・144 頁／南山堂／2020

本連載ご執筆の鍋島先生の最新刊！

「痛みの診断は、内科医の試金石である」と銘打ち、“痛み”を内科診断学の最重要症候と捉えて診断に活用する新たな診断学の意欲作！筋骨格系や内臓疾患からくる痛み、心の痛みなど多様な痛みから患者は内科外来を訪れるが、痛みの性状に耳を傾けること、即ち「痛みの由来分類」で考えることで病態の理解を深め正しい診断を導くことができる。診断の要点を、症例を交え、系統立てて解説した痛みの教科書。